

## 第 1 班

1. タイトル：高齢期雇用時代のキャリアデザイン  
～一人ひとりが働きがいを実感できる職場づくりをめざして～
2. 報告書の概要：公的年金の支給開始年齢が平成 25 年度以降、段階的に 60 歳から 65 歳へと引き上げられることに伴い、現行の 60 歳定年制度のままでは無年金となる期間が発生することから、雇用と年金の接続が官民共通の課題となっている。このため、今後は高齢期の職員もモチベーションを維持し知識と経験を生かして働くことができる職場づくりを進める必要があるという認識の下、公務における再任用職員の現状や民間企業における事例調査を通じて、高齢期雇用における課題を整理し、「未来の私たちのため」に「今できること」として、高齢期を見据えた「キャリアデザイン的设计とその具体化の支援」を政策提言した。
3. 引用している事例：①北海道（再任用職員に対するアンケート及び再任用制度の事例） ②千葉県（再任用制度の事例） ③熊本県の事例（再任用制度の事例） ④カゴメ・日本テトラパック・高島屋・東京ガス（民間企業における対応事例）
4. アンケート調査の有無 : 無